

# 大規模災害の現場からの報告 ～災害と地域づくりの関係性～

今後30年以内に高い確率で発生するとされる南海トラフ地震に加え、能登半島地震の発生や臨時情報の発令により、防災への関心が高まっています。

全国の被災地で支援活動を行ってきた支援P（災害ボランティア活動支援プロジェクト会議）メンバーの方を講師に迎え、地域とのつながりや平常時からの関係性づくりといった「人と人との備え」の大切さについて学びます。

参加  
無料



講師

一般社団法人  
BIG UP (びがっぷ) 石巻  
代表理事

あべ よしのり  
阿部 由紀 氏

東日本大震災当時、石巻市社会福祉協議会に勤務し、災害ボランティアセンターを担当。退職後「一般社団法人BIG UP 石巻」に所属し、現在、代表理事を務める。

東日本大震災で受けた支援の恩返しの想いから、全国各地の被災地で支援活動を続けており、能登半島地震の際には、石川県珠洲市において、災害ボランティアセンターの運営支援を長期的に行っている。

## 日時

令和7年 **9月13日(土)**

10:00～12:00

(受付9:30～)

※事前の申込みが必要です。

## 会場

長尾公民館ホール  
(さぬき市長尾東888番地5)

## お申込み

**9月5日(金)まで**に電話

または、**二次元コード**から  
お申し込みください。

(先着120名)



お問合せ：さぬき市社会福祉協議会 TEL：0879-26-9940

 このフォーラムは、赤い羽根共同募金の助成により実施しています。